

## 1. 団体の設立趣旨

つながりあう社会へ

私たちは今、高度な効率化・情報化がすすんだ、便利な社会に暮らしています。

しかしその裏で、人と人の繋がりは薄れ、深い孤独感が蔓延し、地域コミュニティが崩壊するなど、社会の問題も深刻化しています。

世界では、これまで貧しいと言われていた国々が急激に発展し、豊かさを享受する人が増える一方で、開発による環境破壊、貧困格差、エネルギー・資源をめぐる問題など、多くの深刻な事態も表面化しています。

そんな中起きた東日本大震災と原発事故は、私たちにコミュニティの大切さとその危機を痛感させました。

今、こうした数多の問題を抱える社会を生きていくためには、多様な情報や選択肢から、自ら考え、選び、行動する力を一人一人が身につけることが肝要です。しかし過剰な情報や便利すぎる社会はその力を奪い、生きる力を弱めています。

ゆいツール開発工房<sup>ラボ</sup>の主メンバーは、環境省の体験的な学びの場づくりに6年以上携わってきました。その現場経験の中で、市民の手による課題解決の必要性和、コミュニケーションによる学び合いの可能性を見い出しました。

人と人の関わり合いや繋がりが、社会の中で損なわれつつある「絆」や「生きる力」「生きる知恵」を取り戻す鍵ではないかと考えます。

そこで、「NPO法人ゆいツール開発工房<sup>ラボ</sup>」を設立し、人と人の結びつきを生み出す道具やしくみ（ゆいツール）を開発することで、社会の中にコミュニケーションや学びの機会を増やし、地域でさまざまな人たちがともに学び合う基盤づくり、持続的に活動展開できる環境づくりなどをサポートし、持続可能でいきいきとした地域コミュニティづくりのお手伝いをしていきたいと思っています。

## 2. 団体の目的と主な事業

ゆいツール開発<sup>ラ</sup>工房は、広く日本や世界の人々に対して、ESD（持続発展教育）プログラム開発をはじめとした教育活動事業等を行うことで、社会の中に世代や立場を越えたコミュニケーションや学び合いの機会を創出し、地域コミュニティの持つ課題（環境破壊、少子高齢化、地域文化の衰退など）の解決や、持続可能な社会構築に寄与することを目的とする。

- (1) ESD（持続発展教育）に関わるプログラム開発事業
  - ・ ツールの開発（さまざまな人を対象とした環境教育のための教材開発）
  - ・ 展示パネルの製作
- (2) ESD（持続発展教育）に関わる人材育成事業
  - ・ 指導者育成（環境教育リーダー、インタープリター等の育成）
- (3) ESD（持続発展教育）の社会展開のための事業
  - ・ 参加型プログラムの実施（開発したツールを使った参加型ワークショップの実施）
- (4) 教育活動、地域活性化事業等を行う他の団体との情報交換及びネットワークの構築事業

## 3. 団体の役員

ゆいツール開発<sup>ラ</sup>工房は、以下の役員によって運営されている。

理事長	山本 かおり	
副理事長	小嵐 妙	
理事	松原 裕子	有限会社イリュージョンミル代表取締役
理事	松原 雅裕	デジタルウムプロジェクト！主宰
理事	森 高一	
監事	小山 庄三	

## 4. 会計報告

特定非営利活動法人ゆいツール開発<sup>ラ</sup>工房 貸借対照表(2014年3月31日現在)

(単位:円)

(資産の部)		(負債の部)	
預金	953,902	前受金	370,000
未収金	163,000	未払費用	19,574
		借入金	400,000
		(正味財産の部)	
		一般正味財産	327,328
資産合計	1,116,902	負債・正味財産合計	1,116,902

2014年度 特定非営利活動に係る事業 活動計算書  
2014年4月1日から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人ゆいツール開発工房 (単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 会費・入金収入			
会費・入金収入			
会費収入(正会員)	90,000		
会費収入(賛助会員)	30,000	120,000	
2 事業収益			
①ESDに関わるプログラム開発事業	1,900,000		
②ESDに関わる人材育成事業	3,097,000		
③ESDの社会展開のための事業	135,000	5,132,000	
3 寄付金収入			
寄付金	162,600	162,600	
4 その他収益			
利息	150		
雑収入	0	150	
経常収益計			5,414,750
II 経常費用			
①ESDに関わるプログラム開発事業			
(1)人件費	712,904		
(2)その他経費	1,140,687	1,853,591	
②ESDに関わる人材育成事業			
(1)人件費	1,000,700		
(2)その他経費	2,319,170	3,319,870	
③ESDの社会展開のための事業			
(1)人件費	50,000		
(2)その他経費	130,368	180,368	
雑費	78,045	78,045	
経常費用計			5,431,874
当期経常利益額			-17,124
当期正味財産増減額			-17,124
前期繰越正味財産額			327,328
次期繰越正味財産額			310,204

ラボ  
特定非営利活動法人ゆいツール開発工房 貸借対照表(2015年3月31日現在)  
(単位:円)

(資産の部)		(負債の部)	
預金	190,845	前受金	82,902
未収金	623,000	未払費用	11,119
前払費用	90,380	借入金	500,000
		(正味財産の部)	
		一般正味財産	310,204
資産合計	904,225	負債・正味財産合計	904,225

貸借対照表脚注

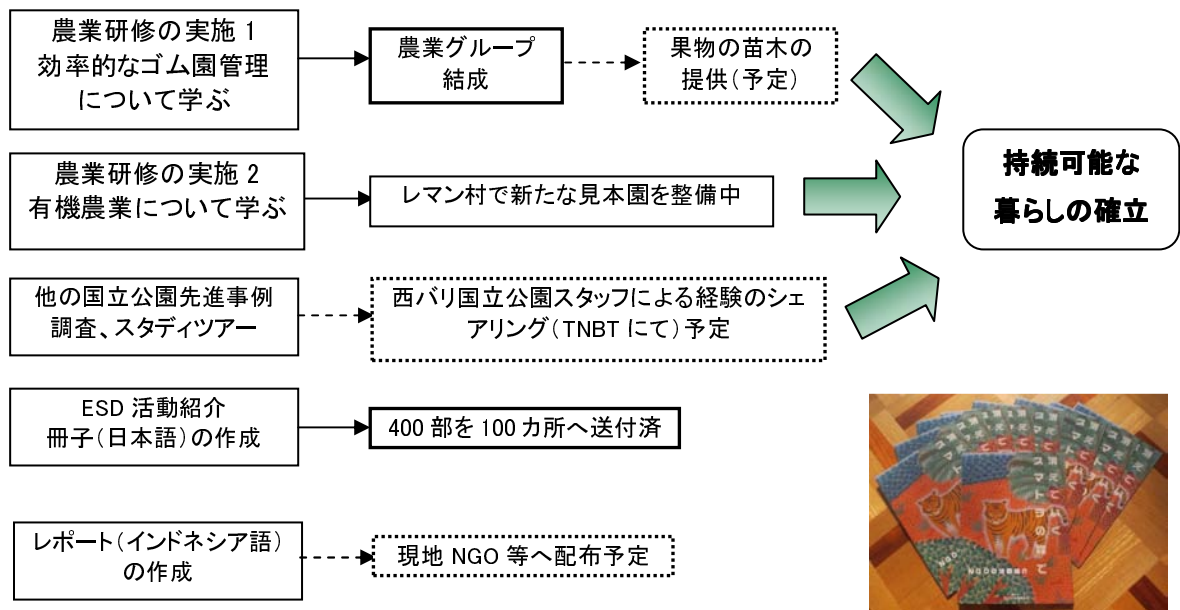
- ・未収金のうち 488,000 円は②人材育成事業に関わるもので、4月30日に回収済みである。
- ・未収金のうち 135,000 円は③社会展開のための事業に関わるもので、4月17日に回収済みである。
- ・前払費用 90,380 円は、①プログラム開発事業に関わるものである。
- ・前受金 82,902 円は、①プログラム開発事業に関わるものである。
- ・未払費用 11,119 円のうち、185 円は雑費で4月24日に支払済である。530 円は①プログラム開発事業に関わるもので4月3日に支払済である。10,404 円は②人材育成事業に関わるもので4月3日・24日に支払済である。

## 5. 活動報告

### 1. スマトラ島の森林保全をテーマとした ESD プログラムの開発～他の国立公園の先進事例調査と住民支援プログラム等～

地球環境基金の助成を受けて、インドネシア・スマトラ島リアウ州ブキッティガプル国立公園周辺（TNBT）で以下の活動を行った。詳しい報告については、別紙のとおり。

- 【活動 1】 農業研修の実施 1：スマトラ島リアウ州農業研修センター（バンキナン市）/6月  
農業グループへの支援：ブキッ・ティガプル国立公園周辺のレマン村/7月～2月  
農業研修の実施 2：リアウ州アイルモレの農業局スタッフによる指導/2月
- 【活動 2】 野菜づくり見本園：ブキッ・ティガプル国立公園内サダン村/前年度～6月で中断  
レマン村で新たな見本園を整備中/3月
- 【活動 3】 他の国立公園の先進事例調査：西バリ国立公園/4月、ウエイ・カンバス国立公園/4月  
西バリ国立公園へのスタディツアー（NGO スタッフ、TNBT スタッフ）対象/9月
- 【活動 4】 ESD 活動紹介冊子の作成/日本語版 11月印刷、  
レポート（インドネシア語）の作成/3月完成



作成した冊子



農業研修 1 の様子

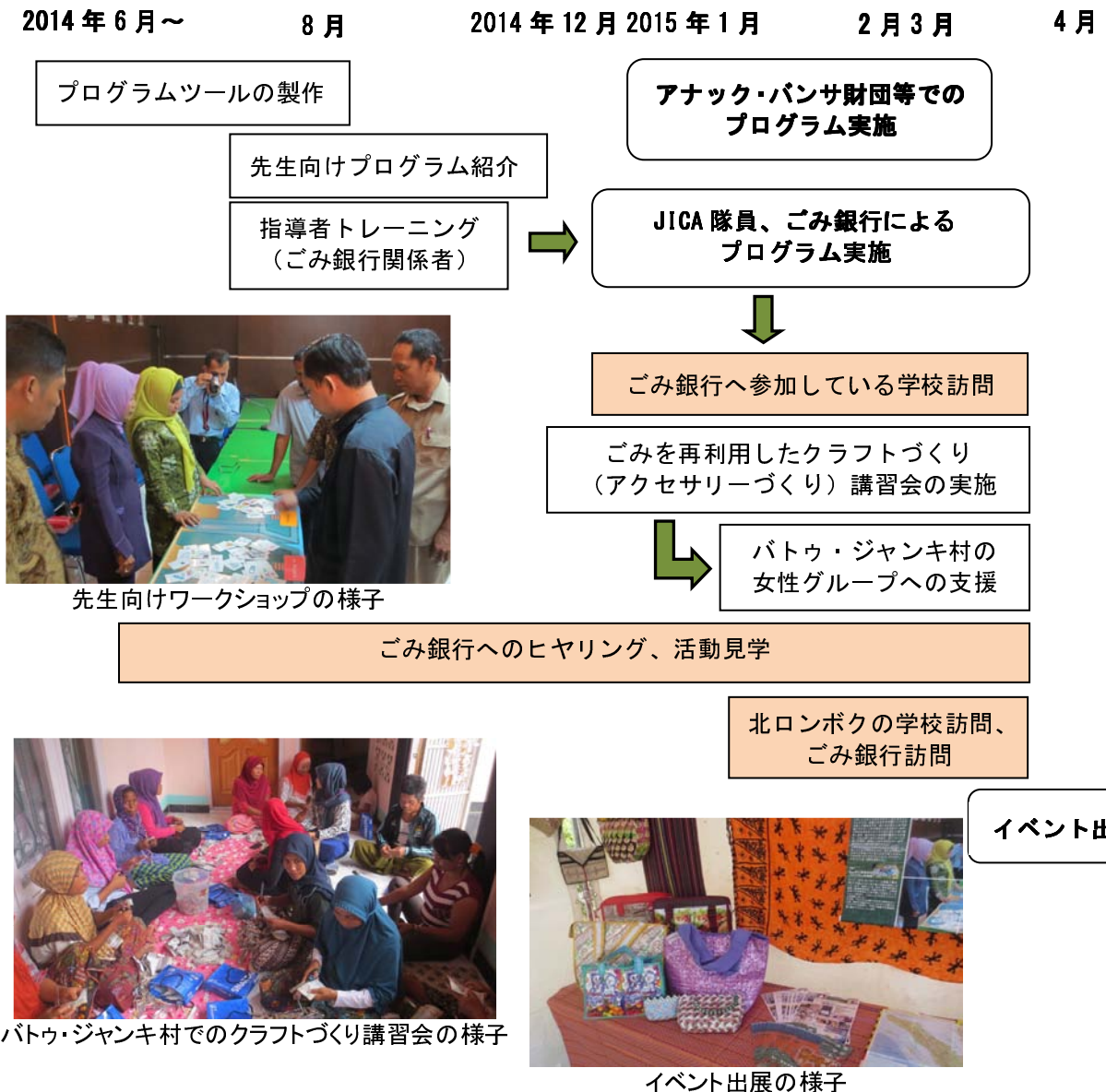


西バリ国立公園スタッフとのディスカッション

2. インドネシア・ロンボク島における環境保全のためのESDプログラム開発・人材育成事業  
～指導者同士のネットワーク形成とごみ銀行の活性化に向けて～

公益信託地球環境日本基金の助成を受けて、インドネシア・ロンボク島での活動を以下のとおり行った。詳しい報告については、別紙のとおり。

- (1) プログラム製作と北ロンボク環境局へのツールの販売
- (2) 先生向けプログラム紹介と指導者トレーニングの実施
- (3) ごみを再利用したクラフトづくり（アクセサリーづくり）の講習会の実施
- (4) ごみ銀行に参加している学校の見学（5カ所）
- (5) バトゥ・ジャンキ村の女性グループへの支援（追加研修等）
- (6) アナック・バンサ財団の子供たちへのプログラム実施
- (7) 北ロンボクの小学校とごみ銀行への訪問
- (8) イベント出展（アースディ東京 2015）



### 3. よこはま動物園ズーラシアでのパネル展示及び大看板の製作

○依頼元：よこはま動物園ズーラシア

○内容：2014年11月と2015年3月に、それぞれズーラシアのスマトラトラの展示棟内でパネルを展示した。11月に展示したもの（①）は、ゆいツールが自前でパネルを製作し、ズーラシアに掲示してもらおうという形、3月に展示したもの（②）は製作依頼を受けて、ズーラシアのスマトラトラの飼育員の要望に合わせて製作したものである。どちらも、野生のスマトラトラが今置かれている状況を伝え、考えさせる内容となっている。

なお、①のパネルは2015年4月に出席したアースディ東京2015用に、横断幕印刷（900×2000cm）をして展示した。



① スマトラトラのパネル（中サイズ）



アースディ東京2015用のパネル（大）



②スマトラトラのパネル（特大サイズ）

#### 4. ロンボク島エコツアーの準備

2015年度に実施する予定の、ロンボク島エコツアーに向けて準備/下調べ等を行った。

項目	活動内容
トレッキング	州都マタラム市からほど近い里山をトレッキングした。滝を目指して計2時間半ほど。途中村の人がアレンという植物から甘い水を採っているところや蒸留しているところなどを見たり、ドゥリアンの実を収穫している村人のところに立ち寄りたりした。
お菓子作りと機織り体験	バトゥ・ジャンキ村でもち米を使ったお菓子作りと機織り体験をした。
焼きもの作り体験	焼きものの里(バニュ・ムレック村)で、お土産屋を見たり、焼きものを作ったりした。(後日受取)
お土産探し	スングギビーチ付近の土産物屋に立ち寄った。
フリマ体験	日曜日の早朝、マタラム市のユダヤナ通りのフリーマーケットに出店した。
伝統衣装体験	着付けをした後ビーチで写真撮影。その格好で土産物屋で買い物。
ココナッツオイル作り(前半のみ)	北ロンボク在住の日本人のお姑さんのココナッツオイル作りの前半工程に参加した。(ココナツミルクを作る部分)



NPO 法人ゆいツール開発<sup>ラ</sup>ボ<sup>ボ</sup>  
〒155-0032  
東京都世田谷区代沢 2-19-12  
<http://yui-tool.jimdo.com/>  
連絡先 : yuitool@gmail.com